

## 「省エネ市民会議」

会議年月日	25年4月12日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	京和ガス本社研修室(2F)
-------	----------	----	---------------	----	---------------

出席者	平手、新田、松本、大前、難波、加藤、高橋、突田、新美、青木、原山、中村、板倉(記) 松浦、高橋、長江(京和ガス) (ホワイトボードに向かって前列左から順に記載、敬称略)
-----	---

### 議 題

#### 1, エネファームの原理と今後の動向(京和ガス松浦専務、高橋特需課長、長江課員)

松浦専務、高橋課長より挨拶の後、長江氏からパワーポイントを使ってエネファームの説明を受けた。



京和ガスでは家庭用コジェネとして2004年からエコウィルを98台、2010年からエネファームを50台販売。

#### 2, 本社屋1階外にある実機を見学し、長江氏、松浦専務より内部ユニットなどの説明を受けた。

また屋上にある設備容量10.08kWで全量売電する事業用太陽光発電システムを見学した。屋上は防水加工や強度の関係で自重で保持するドイツ製軽量架台を使用、電池モジュールは韓国製とのこと。



#### 3, 研修室に戻り、PV-net新美氏からパワーポイント資料をもとに自宅における省エネ・断熱リフォームの

実践例の紹介、最近の新聞記事でもドイツなど住宅・ビルなどの先進事例を紹介する記事が増えていることが指摘された。日本の気候の特殊性と結露についての質問が出され、活発に意見交換がなされた。



#### 4, 平手氏から、環境省・経産省の最新の省エネ低炭素社会施策として住宅・建築物における気密性確保、

断熱工法などが重要視されるようになり、国交省も施策に入れ始めたことでこれから普及が加速するとの見解が述べられた。

次回日程 : 平成25年5月10日(金)13:30~15:30 初石公民館(1F)講義室(定員:42名)

「流山市の地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の解説

以上